

経営比較分析表（令和3年度決算）

宮崎県五ヶ瀬町 国保病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	ド訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
3,606	3,771	第2種該当	-	10：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
36	18	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	54
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
30	17	47

グラフ凡例

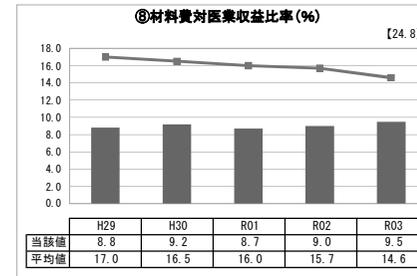
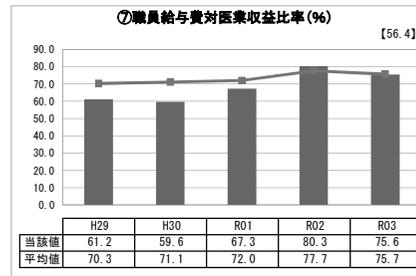
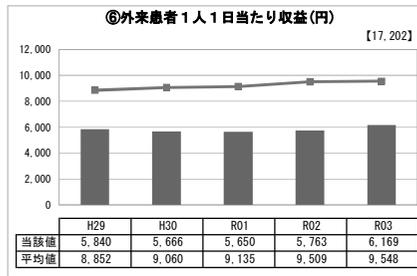
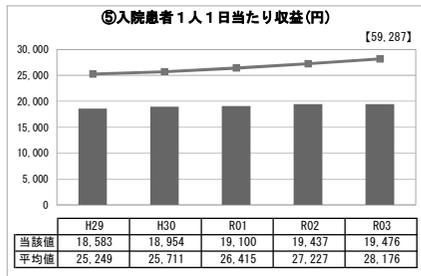
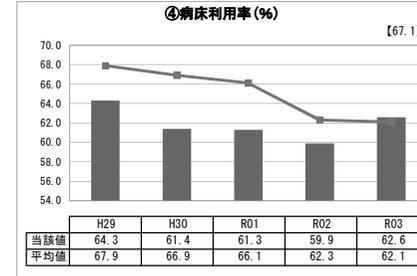
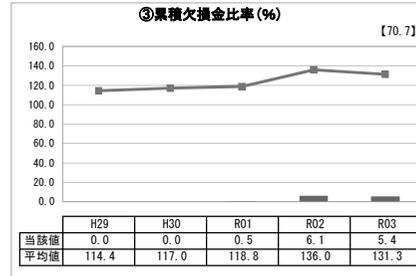
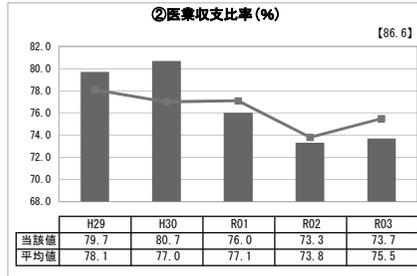
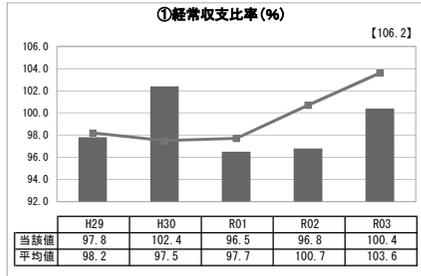
- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）

【】 令和3年度全国平均

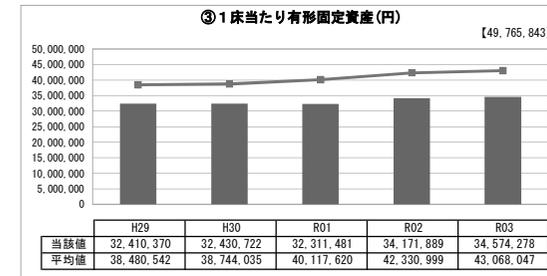
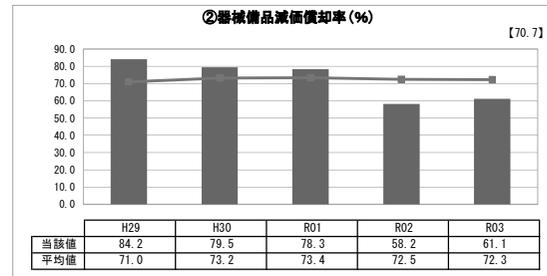
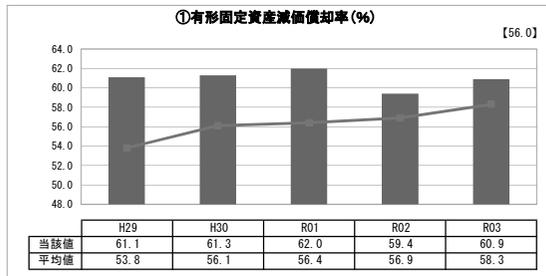
公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

異種・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



I 地域において担っている役割

山間へき地である町の唯一の医療機関として、夜間休日問わず地域医療及び町民の命と健康を守る責務を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は一般会計繰入金の増額により100%を達成した。
医療収支比率は、前年度とほぼ変わらず新型コロナウイルス感染症の拡大による受診控えや軽症入院患者の減少の影響が続いた。
病床利用率については、前年度よりやや回復したが、令和6年度に西臼杵3町の病院統合再編により、一般病床数の削減を実施することになっている。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率については、施設・設備の老朽化が進んでおり、修繕や入れ替えの費用が増加している。計画的な更新作業を進めているが、老朽化故に急な故障や破損等への対応も増加している。
医療機械備品についても、以前から高い減価償却が続いていたが、ここ数年における機器の更新の影響により一旦下がり、平均値を下回っている。

全体総括

長引く新型コロナウイルス感染症の影響のみならず、人口減少に伴う患者数の減少により、引き続き厳しい経営状況であるが、令和6年4月の西臼杵3町の経営統合及び病床再編に向けての作業を進めている。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。